

平成 30 年度 事業報告書

社会福祉法人くすの樹会

法人本部 事業報告書

平成 30 年度 社会福祉法人くすの樹会法人本部 事業報告書

理 念

私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。

基本方針

私たちは、私たちが営む施設が社会資源のひとつとして地域に開かれ、地域に暮らす人に愛され、自ら育ち、また育てられることを目指します。

実施事業

第 2 種社会福祉事業

保育所の経営

一時預かり事業の経営

公益事業

企業主導型保育事業の経営

平成 30 年度事業計画の達成状況

法人組織、経営

本年度の定期役員会については、そのうち 1 回に決議を要する事項がなかった為、必要性の有無を判断し、文書での報告のみとして実施を行わなかった。

各施設からの情報のとりまとめについては、事前に審議を希望する項目について各施設が書面で本部に提出し、当日までに必要な事項については事前に打ち合わせを行い、準備の円滑化を図った。本年は、必要事項の伝達は本部と各施設長が電話やメールでやり取りを直接都度行だったが、業務をより効率化する為、施設が役員会へ希望を提出する為に必要な手順をまとめた業務マニュアルの作成の必要性が課題として挙げた。

人材確保・施設運営について

人材確保について、横浜地区においては会計的に大きく予算を割いて職員の確保に努めた。その他人材確保については下記重点項目②において後述する。

施設運営について、花梨保育園の受託運営について、当年度をもっていずみ福祉会との受託契約を終了した。次年度以降は、開設時の保育担当職員を中心に保育内容の援助を行う。

職員の処遇、職務について

本年も全ての施設において、処遇改善加算Ⅱを取得し、該当する職員に対して支給を行った。若干の規制の緩和はあったものの、全てを支給しなければならず、また支給すべき金額と人数

に制限がある為、本来支給すべきでないと思われる職員に支給せざるをえなかったり、支給したい職員に十分な支給が行えなかったりと、支給額や対象者の決定について今年度も難しい点があった。

業務効率化の為に補助金を受けて全施設に導入した保育業務効率化の為に ICT システムについて、飯塚地区では既に実用化されているが、横浜の園では使用されていないままになっていた。保育の記録等の様式は、行政ごとに指導の基準が異なっており、飯塚地区で問題ないものが横浜で監査時に改善を求められる等、現行様式の全園共通使用が難しくなっていた。より要求の厳しい東京都の様式を基に、法人全体で統一する為に保育現場を中心として改定に着手した。

公益的な取り組みについて

飯塚地区の 2 園が交互に職員を派遣する等して、あじさい保育園とつどいの広場いづかにて、継続して子育て支援事業「ほっとルーム」を実施した。

鯉田地区では、地域の学校長、自治会長、社会福祉関係施設等の施設長等「長」のつく地域の関係者が集まる「長さん会」が毎月開催されており、鯉田保育園も施設長が参画し、地域との連携を図った。

鯉田保育園では例年通り毎月「ふれあい」事業を行い、地域のお年寄りを園に招いての交流と、参加者への給食の無償提供を行った。

飯塚地区の施設では、保育の一環として園外保育に出かける、招かれて地域の行事に参加する機会も多く、園として地域に出ており、伝統的に園児を中心として地域との関係が構築されている。

横浜地区では幼保小連携事業に参加した。地域内の他の保育所、幼稚園等の施設と連携をとって園児や職員が相互に行き来したり、小学校保育士の卒園児のいる小学校へ派遣し、1 年生を対象に読み聞かせやリクリエーションを行ったり、交流を行った。

飯塚地区、横浜地区全園において実習生、職業体験、教員実習等の外部者の研修受け入れを行った。

平成 30 年度重点項目について

① 施設間交流と施設運営の為に、内部制度の見直し

現時点で、当法人は飯塚市内と横浜市内において保育所の経営を実施しているが、特に飯塚市内の施設では、遠く離れていても身内であるという意識が勤務年数の長い中堅以上の職員を中心に高まってきている。

保育力の高い飯塚市内の園からの応援として指導職員の派遣を実施した。また、調理職員については、本人の意向を踏まえて、横浜で就業する職員を飯塚市内の園に研修に出すなど、女性が多く、家庭がある職員などは異動できる職員は多くはないが、週単位、月単位で若

い職員を中心に長期研修、出向制度を試験的に運用した。

② 人材確保と育成

飯塚地区においては、実習に來た学生や見学者に対して、現場職員が園の方針や保育方法などを良く理解したうえで説明し、この保育の意味を丁寧に伝えることで、就業希望者を獲得して就業につながった。保育方針を理解し、目的意識をもって就業しているため、育成を担当する職員にとっても、以降の育成計画が進めやすいとの声が上がった。

横浜地区については、突発で職員の欠勤があった場合も配置基準を必ず満たすように行政の指導もあり、保護者の希望も先ずは有資格者数の十二分な確保であったため、紹介会社等も多く利用して保育士の確保に努めた。転職者の中には保育方針等でなく、立地や金銭的な条件や業務負担の条件で人が動き、雇用前に説明したはずの担当制や異年齢児保育方法に対応するつもりがなく、不安や不満を唱えて短期間で退職する職員も多く見受けられた。本来であれば、有資格者であっても園の方針に合わないであろう者、過去の職務歴に短い期間で転職を多く繰り返している等問題がありそうな者や、他の職員からのサポートを受けても業務遂行が非常に困難でありそうな者については、指導する立場となる現場職員への負担を考慮して進めたいところあるが、有資格者の数の問題で、時には職員の負担増を予見しながらも雇用せざるを得ない場合があり、結果、保育士不足からくる人の流れが速い都会の特徴の中で、質と数の確保のバランスに大きく困難を感じる結果となった。

反面、新規雇用であっても、職員自らが主体的である事をまず求める法人の方針に順応した職員は、全体の保育実務の水準は飯塚の本園にはまだまだ届いていなくても、主体的に目標を掲げて協力しながら保育を行う姿が見え、また、中堅職員もサポートが行いやすいため、職員間で良い関係が築かれている。

③ 法人内の施設間での活発な人材、技術交流による全体の保育力の向上

当法人は飯塚市内と横浜市内において保育所の経営を実施しているが、特に飯塚市内の施設では、遠く離れていても横浜の園も身内であるという意識を持つ職員が増え、勤務年数長短や、正規、非正規等の雇用の形態にかかわらず一部の意識の高い職員が、県外への指導研修の出張として派遣されることに抵抗感がなくなっている。本年度は、保育力の高い飯塚市内の園からの応援として指導職員の派遣を複数回実施した。

また、調理職員については、本人の意向も踏まえて、横浜で就業する職員を飯塚市内の園に研修に派遣する等、交流と技術取得のための交流を行った。

マニュアル等に関しては横浜の行政の基準が高く、施設での整備が進んでいるため、各施設の担当職員同士が連絡を取り合って、改定の度に法人全体に普及する様連携を行なった。

横浜地区の保育士からも、保育を学ぶために飯塚地区の園への研修を希望する声上がり、地域間交流と技術向上への職員自身の積極性が見えるようになった。

本年度は横浜地区と飯塚地区相互において異動者があったため、お互いに見知っている職員

が行き来することにより、コミュニケーションの円滑化が進んだ。

④ 「施設主義」から「法人主義」へ、職員の所属意識の移行の推進

勤務年数の長い職員が増加してきており、中堅以上の職員を中心に法人全体を考えて仕事を行う職員が増えてきた。

また、縄張り意識が強い職員が減少し、職員の活発な相互研修派遣で顔の見える関係ができてきているため、以前より施設間のコミュニケーションが円滑になった。

⑤ 職員のキャリアパス、保育士業務の分野化、認定制度と給与体系の連動した人材育成システムの構築

・職務分析

事務業の職務分析は法人本部事務局を中心として行った。本来の本部業務と施設業務の分化は行ったが、現時点で施設職員のみで施設業務を担当するには技術的に困難であるため、一部の施設業務を法人本部で分担しており、育成と業務の移行を並行して行っている。

保育、調理現場の職務分析は次年度以降、順次職種ごとに職員を交えて行う予定とした。

・キャリアパスモデルの再構築

人事考課基準の改定を前年度より継続的に、平成 31 年度冬期の評価より試験運用を目指して行った。一般的な保育の能力について評価するのではなく、専門職者として法人が求める人材の育成につながる考課基準とすることを基本方針として定め、項目の選定に入った。

研修受講基準もこのキャリアパスに準じて改定する予定であったが、本年度は、処遇改善加算Ⅱの要件であるキャリアアップ講座の受講と、保育方法の浸透のための外部講師による園内研修を優先的に進めた。

研修については、法人が内容を定めて職務の一環として行う研修と、本人の希望により自己研鑽として受ける研修とに明確な棲み分けを行い、自己研鑽については審査を行って法人が負担する場合や、負担は行わないが考課に加味する等のパターン等も想定して、主体的な自己研鑽も評価に反映する仕組みとして、職員自身の主体性による技術向上を奨励する方針とした。

年度の終盤より、処遇改善Ⅱに関わるキャリアアップ研修について、受給要件を充たさせるために法人が順番に受講させるのではなく、キャリアアップ認定講座であるかどうかに関わらず、その職員にとって必要と思われる研修を受講させる方針に転換した為、職場の育成計画外に受給要件研修を受けたい職員については、自己研鑽として受講する事を認める方針とした。

法人本部事務局

職員配置について、計画時は正規 1 名、短時間 1 名となる予定であったが、本人からの申し出により、正規職員 2 名の体制で運営した。

法人本部事務局は法人全体の事務業務の統括であるため、銀杏保育園雇用の事務職員も業務上の指示下において、施設運営に係る事務実務業務を行った。

業務の分担の為、施設事務職員の育成を優先し、その一環として、中央福祉学院で実施される会計実務講座初級を業務の一環として受講させ、会計知識向上を図った。本部で行っていた施設事務業務について、職員の育成に合わせて業務の移行を進めたが、業務移行の完了には至らなかった。引き続き教育と以降を進めていく。

あじさい保育園 事業報告書

平成 30 年度 あじさい保育園事業報告書

1、方針

法人の理念「私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。」を基にひとりひとりを大切にしたい保育を目標に全職員で取り組んできた。

子どもの入所については年度途中で正規職員、パート職員の雇用、育児休業終了の復帰職員、10月から花梨保育園から1名の異動があり徐々に職員が増え、ほぼ毎月園児の入所に対応する事が出来た。職員の増加により、先輩職員の新人職員への指導力を求められたが、十分に法人の理念を理解してきちんと指導できるには時間を必要とするが、なかなか厳しい状況である。

2、実施事業

- | | |
|----------|--|
| ① 事業年度期間 | 平成 30 年 4 月 1 日から、平成 31 年 3 月 31 日 |
| ② 入所児童数 | 平成 30 年 4 月 1 日から、平成 31 年 3 月 31 日
年間延べ人数 1,965 名（別紙参照） |
| ③ 開所時間 | 午前 7 時から午後 7 時まで実施 |
| ④ 保育時間 | 午前 9 時から午後 5 時 30 分 |
| ⑤ 保育事業 | 一時預かり事業（自主事業）
延長保育
休日保育
世代間交流事業・地域交流 |

3、職員体制

年度当初は 4 名の職員が入職した。育児休業終了後の復帰職員、花梨保育園からの異動職員、年度途中で正規職員やパート職員の雇用ができ、職員が増えていった。新規職員ばかりでは「ひとりひとりを大切にしたい保育」を実施していくには、先輩職員の指導力が必要とされた。新規職員には入職と同時に「あじさい保育園育児マニュアル」を渡し熟読してもらい、一つ一つを理解して行動に移すと、思うようにはいかず戸惑う姿も多くあった。教える側はマニュアルどおりにやってもらい、できていない部分についての説明も言葉足らずであったりや理解できないこともあり苦労していた姿があった。お互いが成長するうえで大事なことなので、努力してもらった。

夕方の時間帯には職員の不足が発生しないように人数配置には苦慮した。

年度途中から 5 名の職員の妊娠がわかり、無理のないように業務を行うように自己管理はもちろん、全職員でサポートしながら、産前休暇に入れるように勧めていった。

今年度は主任保育士、副主任保育士が配置できたこと、処遇改善Ⅱのキャリアパス研修に参加してきた職員は、自らの置かれている立場を意識し、責任性・積極性が少しずつ出てきている。

横浜から異動してきた副主任保育士が若い職員をリードし、良い影響が出ている。周りを見ながらゆっくり進める部分と急ぎ変えていく部分を見極め、主任保育士と働きやすい環境を構築している状況である。

4、保育内容

4月から保育所保育指針が幼稚園、認定こども園ともに改定され、施工されることになったが、以前から「ひとりひとりを大切にした保育」を実施している当保育園では大きな戸惑いもなく、保育が進められている。

保育士が日々一人ひとりに丁寧に声をかけることを実践しているので、子どもたちが落ち着いている、一日の生活の中で、自分が次に何をするのがわかっている（先を見通せる行動）が落ち着いた生活の繰り返しが安定した保育につながっている。

異年齢児クラスにおいても、未満児クラスから培った生活習慣によりスムーズに移行出来ている。年上の子への憧れや年下の子のお世話等行っているが、この目的が少しずつではあるが成果ができていく。特に4歳児の和太鼓、5歳児の剣舞の取組は、憧れていたことがやっと実現し、子どもたちの熱意が伝わってきた。

運動会や夕べの集いなどは、子どもたちの成長した姿を見せることができた。

自然災害等で地域のまつりが中止となり、年長クラスの和太鼓や剣舞の発表ができず残念だった。

久住登山では頂上まで登れなかったグループもありましたが、全員久住登山を経験することができた。

生活発表会においては、40年という節目の発表会にあたり、「40年ありがとう」の気持ちで取り組み、発表会を進めることが出来た。

その他の行事についても保護者会を中心に理解、協力もらい進めていくことが出来た。

5、その他の重要項目

幼保連携型認定こども園については、早期に市役所に意見書を求めに行く予定にしている。それに伴い、園児の徴収金については事務局と話し合いながら、進めていく予定である。

職員の増加に伴い、法人理念の理解を始め、あじさい保育園育児マニュアルや、業務マニュアルの活用や新しいマニュアル作成を心がけ、職員同士のコミュニケーションを大事にしていき職員の離職防止を考えている。

平成30年度 各月年齢別入所児童数 あじさい保育園

()広域
全人数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月1日	7	(1) 25	(1) 33	(1) 27	(1) 34	(1) 32	(5) 158
5月1日	7	(1) 25	(1) 33	(1) 28	(1) 34	(1) 32	(5) 159
6月1日	8	(1) 25	(1) 33	(1) 28	(1) 34	(1) 32	(5) 160
7月1日	8	(1) 26	(1) 32	(1) 29	(1) 34	(1) 32	(5) 161
8月1日	(1) 9	(1) 26	(1) 32	(1) 29	(1) 34	(1) 32	(6) 162
9月1日	(1) 11	(1) 26	(1) 31	(1) 29	(1) 34	(1) 32	(6) 163
10月1日	(1) 13	(1) 26	(1) 31	(1) 29	(1) 34	(1) 32	(6) 165
11月1日	(1) 14	(1) 26	(1) 32	(1) 28	(2) 34	(1) 32	(7) 166
12月1日	(1) 15	(1) 26	(1) 32	(1) 28	(2) 34	(1) 32	(7) 167
平成31年 1月1日	(1) 16	(1) 26	(1) 32	(1) 28	(2) 34	(1) 32	(7) 168
2月1日	(1) 16	(1) 26	(2) 33	(1) 28	(2) 34	(1) 32	(8) 169
3月1日	(1) 17	(1) 25	(1) 32	(1) 28	(2) 33	(1) 32	(6) 167

合計	8	11	13	12	17	12	73
	141	308	386	339	407	384	1965

(平成30年度)

延長保育利用状況表

あじさい保育園

時間 月	6:01～ 6:30	6:31～ 7:00	7:01～
4月	338	65	2
5月	368	76	10
6月	373	82	1
7月	271	63	3
8月	261	51	0
9月	247	46	5
10月	361	68	4
11月	250	48	8
12月	349	55	3
1月	345	65	2
2月	358	64	4
3月	383	73	7
H30年度合計	3,904	756	49

(平成31年度)

一時保育利用状況表 (市内)

あじさい保育園 (人)

年.月	飯塚市(1日)	飯塚市(半日)	小計
H30. 4	1	0	1
R1. 5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	1	0	1
11	0	0	0
12	2	0	2
H31. 1	4	3	7
2	9	7	16
3	2	2	4
合計	19	12	31

(平成31年度)

一時保育利用状況表 (市外)

あじさい保育園 (人)

年.月	飯塚市(1日)	飯塚市(半日)	小計
H30. 4	0	0	0
R1. 5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0
11	7	1	8
12	8	0	8
H31. 1	12	0	12
2	2	0	2
3	0	0	0
合計	29	1	30

(平成30年度)

(市内)

休日保育利用表況表

あじさい保育園

年.月	市内						合計
	1日			半日			
	園児	園児外	計	園児	園児外	計	
H30. 4	25	3	28	0	0	0	28
5	32	6	38	0	0	0	38
6	8	2	10	0	0	0	10
7	20	5	25	0	0	0	25
8	19	8	27	2	0	2	29
9	20	6	26	0	0	0	26
10	14	1	15	2	0	2	17
11	13	4	17	0	0	0	17
12	23	2	25	0	0	0	25
H31. 1	15	2	17	0	0	0	17
2	9	2	11	0	1	1	12
3	16	3	19	0	0	0	19
合計	214	44	258	4	1	5	263

あじさい保育園 平成30年度 年間行事執行表

4月	2 (月) 5 (木) 11 (水) 14 (土)	入園式 園児健康診断 園児歯科健診 クラス懇談会
5月	12 (土)	親子遠足(雨天の為 鯉田つどいの広場)
6月	3 (日) 5 (火) 20 (火) 22 (木)	運動会(伊規須小学校) 梅ちぎり(ぶどうグループ) 芋苗植え(さくらんぼ組・りんご・ばななグループ) 芋苗植え(ぶどう・ばななグループ)
7月	7 (土) 14 (金)～15 (土) 9 (月)	そうめん会 つどいの広場誕生祭り参加(ぶどうグループ) お泊まり保育(鯉田つどいの広場)ぶどうグループ 保健師巡回相談(1回目)
8月	7 (火)・9 (木) 22 (水)～24 (金) 25 (土)	二瀬中学校職場体験学習 教職員職場体験(筑豊教育事務所) 飯塚第一中学校職場体験学習 タベの集い
9月	19 (水)	軽費老人ホーム訪問(ぶどうグループ)
10月	3 (水) 6 (土) 10 (水)～12 (金) 11 (木) 17 (水)～19 (金) 21 (日) 24 (水)～26 (金) 25 (木) 31 (火)	園児歯科健診 赤い羽根共同募金 久住登山(ぶどうグループ スイミー組) 園児健康診断 久住登山(ぶどうグループ カミイ組) 二瀬地区敬老会参加(ぶどうグループ) 久住登山(ぶどうグループ エルマー組) 幼年消防祭り(ばななグループ) かぼちゃまつり(たてわりグループ)
11月	1 (火)～30 (水) 6 (火) 15 (木) 16 (金) 19 (月) 26 (月) 29 (木)	保育参加 お芋掘り 七五三参拝/高菜植 片小フェスタ(ぶどうグループ) 鯉田つどいの広場(消防体験)ぶどうグループ 保健師巡回相談(2回目) 焼き芋パーティー
12月	10 (月) 18 (火) 22 (土)	陶芸(ぶどうグループ) お楽しみ会 おもちつき
1月	18 (金)	観劇会
2月	4 (月) 9 (土)	豆まき 生活発表会(コスモスコモン中ホール)
3月	2 (土) 7 (水) 9 (土) 19 (火) 23 (土)	剣舞発表会(ぶどうグループ) 軽費老人ホーム訪問(ばななグループ) クリーンキャンペーン(ぶどうグループ) お別れ会 卒園式

*誕生会・・・毎月

*体操教室・・・月曜日(年間24回)ばなな・ぶどうグループ 後半よりりんごグループ参加

*音楽リズム・・・月曜日(年間36回)いちご・すもも・れもん・さくらんぼ組参加

*誕生会・・・毎月

*体操教室・・・月曜日(年間24回)ばなな・ぶどうグループ 後半よりりんごグループ参加

*音楽リズム・・・月曜日(年間36回)いちご・すもも・れもん・さくらんぼ組参加

*スイミング・・・ばななグループ6回・ぶどうグループ6回

*読み聞かせ・・・年間6回

*わらべうた・・・年間6回

平成 30 年度研修報告書

あじさい保育園 (H30.4.1-H31.3.31)

日付	園内研修		食育研修		県内		県外	
	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)
4月	育児担当制研修 読み聞かせ わらべうた 和太鼓	保育士全員 保育士全員 保育士全員 7名						
5月	和太鼓	7名						
6月	読み聞かせ わらべうた 和太鼓	保育士全員 保育士全員 7名						
7月	育児担当制研修 和太鼓	保育士全員 7名	平成30年度食中毒予防講習会	1			育児担当制保育 公開保育	1
8月	読み聞かせ わらべうた 和太鼓	保育士全員 保育士全員 7名			筑豊地方保育士会研修会「子どもがやる気になる運動・遊びプログラム」	1		
9月	育児担当制研修 和太鼓	保育士全員 7名			筑豊地方保育士会研修会 「保育所保育指針」	1		
10月	読み聞かせ わらべうた 和太鼓	保育士全員 保育士全員 7名						
11月	和太鼓	7名			部落解放研修会	2		
12月	わらべうた 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 保育士全員 7名			平成30年度保育所主任保育士研修会 平成30年度福岡県保育所(園)長研修会 保育者の集い	1 1		
1月	和太鼓	7名			児童虐待研修	1		
2月	わらべうた 育児担当制研修 和太鼓	保育士全員 保育士全員 7名						
3月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 7名						

鯰田保育園 事業報告書

平成30年度 鯉田保育園事業報告（案）

1. 方針

一人ひとりを大切にしたい保育を念頭に置き、育児担当制に取り組んでいき、保育制度が変わっていても、子どもたちの最善の利益を優先にしながらの保育をすることができた。子ども個々の発達についても、クラス内の共通理解が重要になってくるのだが、保育士不足のうえ短時間職員の比率が高くなっている中、勤務日数や時間の関係から話し合いが十分にできず、連絡・伝達で進んでいるように思われた。

研修においては、キャリアアップ研修と共に、個々の職員の資質を伸ばすという観点からも、職員研修の充実をはかっていきたいと考えてきたが、市内の保育士会の研修や近隣の研修のみの参加になり、研修計画に基づく職員の資質向上までにはいかなかった。全体・個人に対しての研修の選び方と同時に、研修を受ける側の姿勢も問われていると感じている。

ふれあい交流会での世代間の交流は、年々高齢となられているということもあり、参加者数の減少がみられていたが、自治会を通してのお誘いをかけさせて頂き、新規の方の加入も見られた。子どもたちにとっても楽しい時間となり、また子どもによっては、高齢者の動きや大変さを理解し、一緒に寄り添う姿も見られ、今後も加入して頂ける方への発信や、内容を考えつつ継続していきたい事業と考える。

2. 実施事業

- | | |
|----------|---|
| ① 事業年度期間 | 平成30年4月1日から平成31年3月31日 |
| ② 入所児童数 | 平成30年4月1日 106名入所から
平成31年3月31日 110名 年間延べ1,297名 |
| ③ 開所時間 | 午前7時から午後7時まで実施。 |
| ④ 保育時間 | 午前9時から午後5時30分 |
| ⑤ 保育事業 | <ul style="list-style-type: none">・延長保育：午後7時以降の利用は少ない。（実績は別紙）・一時預かり事業：自主事業として行う。・世代間交流事業：自主事業として、年間11回のふれあい交流会を行った。・地域交流：地域のお寺の花祭り、鯉田交流センターサークル発表会などに参加した。・休日保育：利用希望がほとんどなく、また、あった場合は、あじさい保育園を利用している。 |

3. 職員体制

29年度末の職員の退職に伴い、30年度当初は、保育士・栄養士の異動があった。常勤職員が減少する中で、シフトや仕事内容においても、職員への負担が大きくなっていたが、短時間職員も時間数を延ばしていく傾向もみられた事と、年度途中でも、常勤職員1名、花梨保育園からの異動で短時間職員1名、短時間職員4名と派遣職員の短時間勤務1名の雇用ができ、後半では人的環境も整ってきた。

短時間職員も、クラス内の仕事や行事の担当に、積極的に関わろうとする職員の様子も見られるようになってきた。未満児クラス・以上児クラスの連携を十分にとり、保育士として、自分のクラスだけ・自分の働き方の範囲内だけに固執せず、園全体で連携できる体制も少しずつではあるが、できてきているように思う。

4. 保育内容

3歳以上児クラスでは、異動してきた2年目と短時間職員での体制しかとることができず、公休の代替やサポート的に主任が常にクラスに入っているという体制から始まった。担任の短時間職員には、3歳以上児クラスの経験もある事と、主任のサポートで、子どもとの関係や日々の流れは安定していたが、職員自身の安定に欠けていたと思う。

日々の保育の中での職員間の連携という点では、自分のクラス以外の活動に関心が薄く、園全体の共通理解や、子どもの発達につながりを考える・保育を見通すという点が不十分だったと思う。

育児担当制については、新任の保育士もいる中、クラス内の共通理解と育児マニュアルに沿った行動と遊びの繋がりが、十分に伝えきれない・理解できていないように感じた。自分で考えて活動できる子どもに育てていくという基本を大切に、職員一人ひとりが自分たちのしている保育が、子どもたちの発達のどの部分に関わっているのかという事をしっかりと理解できるよう、また、新保育指針の改定もあり、園内研修を活用しながら、職員の資質向上に繋げていきたいと思う。

10月より、濱崎先生の読み聞かせの時間を入れて頂き、子どもたちと共に絵本の世界に入る貴重な時間を職員の研修と共にとらせて頂き、多くの事を生活発表会へと繋げていくことができたので、今後もより充実したものにしていきたいと思う。

5. その他の重要事項

施設や設備の面では、建て替えを見通し、修繕か購入かなどその都度検討しながら、安全面・衛生面・快適性を維持している現状です。

常勤職員の雇用や、短時間職員の時間延長や常勤への異動、保育実習生をしっかりと見極め、積極的に雇用へと繋げていくことを園全体で取り組めたことを実感でき、今年度へと繋げていくことができた。雇用できたことで終わらず、職員が保育にやりがいを見いだせ定着し、保育の安定へと繋げていくことが課題です。

平成30年度 各月年齢別入所児童数

鯉田保育園

()広域
全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (広域 含む)
平成30年4月1日	9	14	21	16	19	27	106	106
平成30年5月1日	10	14	21	16	19	27	107	107
平成30年6月1日	10	14	21	16	19	27	107	107
平成30年7月1日	10	14	21	16	19	27	107	107
平成30年8月1日	10	14	21	16	19	27	107	107
平成30年9月1日	(1) 11	14	21	16	19	27	(1) 108	109
平成30年10月1日	(1) 12	14	21	16	19	27	(1) 109	110
平成29年11月1日	(1) 12	14	21	16	19	27	(1) 109	110
平成30年12月1日	(1) 13	14	21	16	19	27	(1) 110	111
平成31年1月1日	(1) 13	13	21	16	19	27	(1) 109	110
平成31年2月1日	(1) 13	13	21	16	19	27	(1) 109	110
平成31年3月1日	(1) 13	13	21	16	19	27	(1) 109	110

H30年度 合計	7	0	0	0	0	0	7
	136	165	252	192	228	324	1,297

H30年度 延長保育実績表

鯉田保育園

時間 月	6:01～ 6:15	6:16～ 6:30	6:31～ 7:00	7:01～	徴収金
4月	86	55	32	0	14,400
5月	109	84	34	2	20,400
6月	106	70	38	0	21,800
7月	90	67	30	1	18,300
8月	74	43	24	1	14,200
9月	96	71	39	2	20,400
10月	109	68	29	4	24,500
11月	128	77	31	1	25,300
12月	97	58	32	1	19,000
1月	94	46	14	0	16,400
2月	89	45	18	0	22,400
3月	112	66	22	0	23,300
年間合計	1190	750	343	12	240,400

鯉田保育園 平成30年度 年間行事執行表

4月	2日(月) 11日(水) 19日(木) 21日(土)	入園式 園児内科健診 園児歯科検診 クラス懇談会・保護者会総会・歓迎遠足(筑豊緑地)
5月	27日(日)	運動会(園庭)
6月	6日(火) 7日(水) 18日(月)	芋苗植え(鯉田)ひまわり・さくらグループ 芋苗植え(園舎裏の畑)こすもすグループ ポップサーカス鑑賞(さくらグループ)
7月	2日(月) 10日(火) 20日(金)～21日(土)	プール開き そうめん流し お泊り保育(鯉田つどいの広場)さくらグループ
9月	1日(土)～30日(土) 7日(金) 14日(金) 21日(金) 22日(土) 28日(水)	保育参加 スイミングスクール(さくら・ひまわりグループ) スイミングスクール(さくら・ひまわりグループ) スイミングスクール(さくらグループ) 秋祭り スイミングスクール(さくらグループ)
10月	4日(木) 12日(金) 18日(木) 19日(金) 25日(木)	園児歯科検診 秋の遠足・親子バス遠足(さくらグループ) 園児内科健診 芋掘り(さくら・ひまわりグループ) 幼年消防ふれあい祭り(さくらグループ)
11月	12日(月) 13日(火) 19日(月) 20日(火)	芋ほり(こすもすグループ) 椎の木公園花植え参加(さくらグループ) つどいの広場防災訓練参加(さくらグループ) 焼き芋パーティー
12月	15日(土) 22日(土)	生活発表会(サンシャイン鯉田) 餅つき
2月	1日(金) 2日(土) 24日(日)	豆まき 近畿大学九州短期大学オペレッタ観賞(さくらグループ) 鯉田交流センターサークル発表会(さくらグループ・太鼓)
3月	6日(水) 14日(木) 19日(火) 23日(土)	お別れ遠足(園内) 観劇会(ふれあいと合同) 茶話会(さくらグループ) 卒園式

*避難訓練(防災訓練)・・・毎月

*誕生会・・・毎月

*クッキング保育・・・(0, 1, 2, 3, 5歳児クラス 年1回ずつ)

*世代間交流(ふれあい交流会)・・・年間11回

*和太鼓教室・・・毎週火曜日(月4回)

*わらべうた・・・年6回

*読み聞かせ・・・年6回

平成 30 年度研修報告書

鈴田保育園 (H30.4.1-H31.3.31)

日付	園内研修		食育研修		県内		県外	
	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)
4月	育児担当制研修 和太鼓	保育士全員 2						
5月	和太鼓 わらべうた	2 保育士全員			鈴田地区人権同和推進懇談会 主任保育士研修会 筑豊地方保育士研修会 「気になる乳幼児の育ちと子育て支援のあり方」	1 1 1		
6月	和太鼓	2						
7月	育児担当制研修 和太鼓 わらべうた	保育士全員 2 保育士全員	筑豊地方保育士研修会 「保育園から発信する食育」 平成30年度食中毒予防講習会	1 1			第5回九州保育三団体研究大会	1
8月	和太鼓	2						
9月	和太鼓 わらべうた 育児担当制研修	2 保育士全員 保育士全員			筑豊地方保育士研修会 「保育所保育士新解説書から考える」	1		
10月	わらべうた 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 保育士全員 2			部落解放研修会	2		
11月	和太鼓 わらべうた 育児担当制研修	2 保育士全員 保育士全員	筑豊地方保育士研修会 「調理研修」	1	福岡県保育所(園)長研修会(2日間)			
12月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 2						
1月	和太鼓	2			筑豊地方保育士研修会 「児童要録の書き方について」 保育制度をめぐる諸情勢 嘉飯桂地区事業主人権同和問題研修会	2 1 1		
2月	わらべうた 和太鼓 育児担当制研修	保育士全員 2 保育士全員						
3月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 2			鈴田地区人権同和推進研修会 「朝鮮舞踊に込める想い」	1		

銀杏保育園 事業報告書

平成 30 年度 銀杏保育園事業報告書（案）

1. 基本方針

社会福祉法人として当法人が目指し、課題としてきたものが制度として位置づけられたが、これは法人の方向性に沿って、私たちの現場である保育所が、施設の使命である「保育」と同時に、保育所という器とそこに揃っている人的資源を、身近な地域にどう活かしていくかが課題と考えられる。

銀杏保育園は、分園である胡桃館を開園したが一年間を通して施設課題として、まずは、職員の採用と定着を最大の課題として方策を講じ、利用する方に安心して保育を提供するとともに保育内容の充実と安定を第一の目標とした。

2. 平成 30 年度重点項目

① 法人理念、保育理念の共通理解と、実施している日常保育を客観視し、保育内容を深める。

② 保育の方向性を一致させ、銀杏及び胡桃館の職員同士が協力関係を保ちやすくするために、定期的な職員会議を開催し、職員相互の意思の疎通と、共通認識を高める。

■ 新規採用職員が多く、短時間職員、派遣職員が多く混在するため、多様な働き方であっても「保育士」と言う資格が持つ責任を自覚してもらうことに注力した。

- ・主に、主任保育士による、育児担当制保育（主に 0,1 歳児）の OJT と、発達に応じた保育環境の設定変更を行い、現場レベルで大人都合に変えてしまった保育方法の修正を行った。
- ・外部講師の園内全職員を対象とした実地研修及び理論研修を行い、育児担当制保育実践の意味を理解させることに注力した。
- ・職員相互の意思疎通については、職員会議の開催や本園と分園の職員間の相互交流を試みたが、30 年度は、職員会議の参加状況は正規職員が中心の会議となり、短時間職員、派遣職員への会議内容の周知については工夫を要した。

- ・本園分園の相互交流については、行事時の交流や、子どもの交流に留まり、職員の積極的な交流までは至らなかったが、協力関係を持とうとする意識は芽生えつつある。
- ・施設長より、資格職として当法人で働くことに対する考え方、育児担当制についての保育の基本的な考え方、一斉保育との違い等々について認識できるように職員会議、園内研修、職員連絡会議等の機会、また必要に応じて現場で個別に伝えながら折に触れて修正を行った。

3. 中期目標 （平成29年4月～平成34年3月）

- ① 園内研修を通し、保育内容の充実をはかる。
 - ② 地域との交流を意識的に増やしながら、銀杏保育園や胡桃館でできる地域貢献を探る。胡桃館では、地域開放スペースを活用する。
 - ③ 年間休日を10日間増やし、実質上の処遇改善を行い、職員の自己研鑽がしやすい環境を整える。
 - ④ ①～③の状況を評価し、保育の質向上と、職員の資質向上に役立つ環境づくりを行なう。
 - ⑤ 他機関、他法人との連携を行ないながら、上記②の充実を図る。
- ・中期目標は、年度ごとに修正を加えながら、3年後に中間まとめを行なう。
 - ・公益的取組みについては、模索しながら取り組む。

- ①保育内容については、前年度末に大幅な職員の入れ替わりがあったにもかかわらず、低下することなく、部分的にはあるがレベルアップした。
- ②地域との交流については、餅つき行事を地域に開放したことで、少ない人数ではあるが、地域の方の参加を得ることができた。
- ⑤にも関連するが、地域主任児童委員との連携で、地域社協が行っている子育て支援事業を、年間1回であるが、銀杏保育園で開催している。
- ③正規職員は、年間115日の公休を実現した。31年度は有給休暇の5日取得により、年間実休暇は120日となる（月間実質10日の休み）ため、職員の自己研鑽が深まることを期待したい。
- ④年間休日実日数、研修体系については、新規学卒求職者の職場選択の入り口として大きなウェイトを占めているため、今後も検討が必要である。

⑤他機関、他方人との連携については、②の地域社協（主任児童委員）との連携を深めていきたい。

・他法人連携では、育児担当制保育に取り組んでいる他園（3法人）と連携し31年度に4法人4施設で、つごう年4回の公開保育と講演会を実施予定で計画をしている。

・東京大学大学院教育学研究科付属 発達保育実践政策学センター（SEDEP）の基礎研究のための協力園として、保護者の同意を得て協力している。（毎週1日終日子どもの行動撮影：30年度4歳児→31年度5歳児）

4. 実施事業

银杏保育園保育事業

银杏保育園胡桃館保育事業

一時預かり事業

■利用実績については、別紙資料参照。

5. 事業年度

平成30年4月1日から 平成31年3月31日

6. 定員

银杏保育園 定員60名

4月1日現在	0歳児6名	1歳児8名	2歳児10名
	3歳児12名	4歳児12名	5歳児11名
	計59名		

银杏保育園胡桃館 定員44名

4月1日現在	1歳児6名	2歳児8名	3歳児9名
	4歳児9名	5歳児2名	
	計34名		

総合計93名

■利用実績については、別紙資料参照

7. 職員体制

配置基準	→	配置人数
施設長 1 名	→	1 名
主任保育士 1 名	→	1 名
保育士 (銀杏 8 名+胡桃 3.5=11.5→名 (常勤：銀杏+短時間名)		
調理員 3 名	→	9 名 (常勤 3 名+短時間 4 名)
その他 0 名	→	1 名 (胡桃館用務)

■職員体制及び入退職については、別紙資料参照。

以 上

平成30年度 各月年齢別入所児童数

銀杏保育園

全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数
平成30年4月1日	6	8	10	13	11	9	57	57
平成30年5月1日	6	8	10	14	10	9	57	57
平成30年6月1日	6	8	10	13	10	9	56	56
平成30年7月1日	6	8	10	12	11	9	56	56
平成30年8月1日	6	8	10	12	11	10	57	57
平成30年9月1日	6	8	11	12	11	10	58	58
平成30年10月1日	6	8	11	12	11	10	58	58
平成30年11月1日	6	8	11	12	11	10	58	58
平成30年12月1日	6	8	11	12	11	10	58	58
平成31年1月1日	6	8	11	12	11	10	58	58
平成31年2月1日	6	8	11	12	11	10	58	58
平成31年3月1日	6	8	11	12	11	10	58	58

H30年度 合計	0	0	0	0	0	0	0
	72	96	127	148	130	116	689

平成30年度 各月年齢別入所児童数

銀杏保育園 胡桃館

全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (私的契約 含む)
平成30年4月1日		(1) 6	7	7	9	2	31	32
平成30年5月1日		(1) 6	7	6	9	1	29	30
平成30年6月1日		(1) 6	7	6	9	1	29	30
平成30年7月1日		(1) 6	7	6	9	1	29	30
平成30年8月1日		(1) 6	7	6	9	0	28	29
平成30年9月1日		(1) 7	7	7	9	0	30	31
平成30年10月1日		(1) 7	7	7	9	0	30	31
平成30年11月1日		(1) 7	7	7	9	0	30	31
平成30年12月1日		(1) 7	8	9	10	0	34	35
平成31年1月1日		(1) 7	8	9	10	1	35	36
平成31年2月1日		(1) 7	8	9	10	1	35	36
平成31年3月1日		(1) 7	8	9	10	1	35	36

H30年度 合計	0	12	0	0	0	0	0
	0	79	88	88	112	8	375

30年度 延長保育利用実績一覧表

銀杏保育園

	朝延長①	朝延長②	朝延長③	夕延長①	夕延長②	夕延長③	夕延長④	夕延長⑤	夕延長⑥	夕延長⑦	合計
4月	27	0	2	0	0	0	0	93	55	6	183
5月	61	4	8	16	4	3	2	146	79	17	340
6月	59	1	8	13	3	1	0	143	70	13	311
7月	55	0	2	7	4	3	2	156	101	28	358
8月	63	0	2	0	0	0	0	117	70	23	275
9月	59	0	1	0	0	0	0	158	70	24	312
10月	67	0	0	0	0	0	0	181	94	33	375
11月	49	0	1	2	0	0	0	173	75	16	316
12月	48	0	2	2	0	0	0	157	83	12	304
1月	50	0	0	1	1	1	1	133	64	7	258
2月	44	0	2	4	4	3	3	148	73	4	285
3月	57	0	2	10	3	0	0	175	93	10	350
合計	639	5	30	55	19	11	8	1780	927	193	3667

30年度 延長保育利用実績一覧表

銀杏保育園 胡桃館

	朝延長①	朝延長②	朝延長③	夕延長①	夕延長②	夕延長③	夕延長④	夕延長⑤	夕延長⑥	夕延長⑦	合計
4月	22	0	0	0	0	0	0	47	21	15	105
5月	13	0	0	2	2	2	0	58	24	14	115
6月	2	0	2	0	0	0	0	40	15	7	66
7月	6	0	0	0	0	0	0	32	23	12	73
8月	11	0	0	0	0	0	0	29	18	10	68
9月	0	0	0	0	0	0	0	31	20	14	65
10月	0	0	0	0	0	0	0	47	31	15	93
11月	2	0	0	0	0	0	0	39	21	15	77
12月	8	0	0	0	0	0	0	46	23	11	88
1月	10	0	0	1	0	0	0	25	7	0	43
2月	17	0	0	0	0	0	0	23	5	3	48
3月	14	0	3	2	2	2	0	27	9	5	64
合計	105	0	5	5	4	4	0	444	217	121	905

平成30年度 一時保育利用実績表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園

月	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ	月合計	区分
4月	0	24	0	24	B
5月	8	4	0	12	A
6月	16	1	0	17	A
7月	12	0	0	12	A
8月	10	7	0	17	A
9月	17	10	0	27	A
10月	27	5	8	40	B
11月	11	5	0	16	A
12月	28	0	2	30	B
1月	9	0	5	14	A
2月	23	0	2	25	B
3月	38	0	7	45	B
総合計	199	56	24	279	

平成30年度 一時保育利用実績表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園胡桃館

月	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ	月合計	区分
4月	14	0	0	14	A
5月	4	0	1	5	A
6月	24	0	1	25	B
7月	27	0	2	29	B
8月	29	0	0	29	B
9月	24	1	0	25	B
10月	43	0	1	44	B
11月	45	9	3	57	B
12月	27	0	2	29	B
1月	33	0	0	33	B
2月	31	4	0	35	B
3月	23	0	0	23	B
総合計	324	14	10	348	

平成30年度 銀杏保育園・胡桃館行事予定表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園

日付	行事名	参加対象	行事内容
4月			
2日	入園式(胡桃館・銀杏)	新入園児・保護者、在園児	入園式及び担任紹介
14日	保護者懇談会(銀杏・胡桃館)	保護者	保護者、職員との懇談・交流
18日	お話し会	在園児	わらべうた・うたあそびなど
19日	茶道教室(銀杏・胡桃館)	年長児	茶道
21日	保護者懇談会(胡桃館)	保護者	保護者、職員との懇談・交流
5月			
9日	内科健診(銀杏)	在園児	嘱託医による検診
10日	さつま芋収穫	年長児	芋苗植え ※吉田さん畑
12日	親子遠足(銀杏)※胡桃不参加	在園児、保護者、祖父母	親子・祖父母との交流
17日	茶道教室(銀杏・胡桃館)	年長児	茶道
23日	梅もぎ取り(銀杏・胡桃館)	年長児	梅もぎ、くらき永田保育園交流
6月			
7日	内科健診(胡桃)	在園児	嘱託医による検診
10日	運動会(銀杏・胡桃館)	在園児、保護者、地域、祖父母	運動会
15日	プール開き(銀杏)	在園児	水遊びの約束、安全祈願
	プール開き(胡桃)	在園児	水遊びの約束、安全祈願
14、15日	歯科検診(銀杏・胡桃)	在園児	嘱託医による検診
28日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
7月			
4日	流しぞうめん(銀杏・胡桃館)	在園児	夏の涼を感じる
6日	園外保育(銀杏・胡桃館)	年長児	平塚七塔まつり見学
13日～	お泊り保育(銀杏・胡桃館)	年長児	機遊び、園内お泊りなど
20日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
31日	お話し会	在園児	わらべうた・うたあそびなど
8月			
2日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
25日	夏祭り(銀杏)	在園児、保護者、祖父母、地域など	幼児お店屋さんごっこなど
9月			
3日	大規模災害引き取り訓練	在園児、保護者	大規模災害を想定した引き取り
11日	リトミック	在園児	わらべうた・うたあそびなど
13日	プール納め	在園児	プール納め、掃除
	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
20日	茶道教室(銀杏)	年長児	茶道
25日	読み聞かせ	在園児	絵本・言葉遊び
29日	秋祭り(胡桃)	在園児、保護者、祖父母、地域など	幼児お店屋さんごっこなど

日付	行事名	参加者	行事内容
10月			
10日	芋堀り(銀杏・胡桃館)	年少・年中・年長児	さつま芋収穫 ※吉田さん畑
	茶道教室(銀杏・胡桃館)	年長児	茶道
18日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
29日	ハロウィンパレード(胡桃)	在園児・地域	ハロウィン歩き
31日	ハロウィン(銀杏・胡桃館)	在園児	ハロウィンハイキングなど
11月			
1日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
2日	秋の味覚祭	在園児・保護者・地域	秋の味覚を楽しむ
6日	尿検査	在園児(2歳児～年長児)	尿検査
8日	内科健診	在園児	嘱託医による検診
9日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
15日	七五三(銀杏・胡桃館)	在園児、保護者(保育参加)	七五三製作、お語り
16日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
24日	作品展(銀杏)	在園児・保護者・祖父母・地域	各クラスの作品展示
28日	焼き芋	在園児	秋の味覚と自然を楽しむ
12月			
1日	作品展(胡桃)	在園児・保護者・祖父母・地域	各クラスの作品展示
6日	観劇(人形劇)	在園児	人形劇を楽しむ
7日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
14日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
15日	餅つき(銀杏)	在園児・保護者・祖父母・地域	餅つき、伝統行事に触れる
22日	餅つき(胡桃館)	在園児・保護者・祖父母・地域	餅つき、伝統行事に触れる
25日	クリスマス会	在園児・保護者・祖父母	クリスマスを楽しむ、交流など
26日	お話し会	在園児	わらべうた・うたあそびなど
1月			
1月	秋葉小学校1年生交流会(銀杏)	年長児、地域	学校訪問、1年生との交流
17日	歯科検診(銀杏)	在園児	嘱託医による歯科検診
18日	歯科検診(銀杏)	在園児	嘱託医による歯科検診
22日	観劇(園外保育)	年長児	観劇「ライオンキング」
25日	お話し会(銀杏)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
25日	茶道教室(銀杏・胡桃館)	年長児	茶道
	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
	秋葉小学校1年生交流会(銀杏)	年長児、地域	学校訪問、1年生との交流
2月			
1日	節分(豆まき)	在園児	伝統行事を楽しむ
13日	お話し会(銀杏)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
16日	生活発表会(銀杏)	在園児・保護者・祖父母・地域	一年の成長の成果を発表する
23日	生活発表会(胡桃)	在園児・保護者・祖父母・地域	一年の成長の成果を発表する
27日	茶道(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
3月			
8日	お別れ遠足(銀杏・胡桃館)	在園児	お別れ遠足
12日	園外保育 いちご狩り	年長児	園外保育
16日	親子味噌作り	在園児・保護者	伝統行事に触れる
23日	卒園式(銀杏)	年長児・年少児・年中児・保護者・祖父母	
27日	卒園式(胡桃)	年長児・年少児・年中児・保護者	

[illegible]

平成30年度 職員入退職一覧表

社会福祉法人くすの樹会銀杏保育園・胡桃館

	保育	調理	事務	その他（保育補助）	入職者数	退職者数
4月1日	30 正6／非16／派9	6 正2／非3／派1	1 正規1	4 正1／非3	20 正3／非11／派6	0
5月1日	34 正7／非18／派9	6 正2／非3／派1	1 正規1	6 正1／非4／派1	6 正1／非4／派1	0
6月1日	36 正7／非20／派9	7 正3／非3／派1	1 正規1	6 正1／非4／派1	2 正1／非1	1 非1
7月1日	37 正9／非19／派9	7 正3／非3／派1	1 正規1	7 正2／非4／派1	4 正3／派1	2 非1／派1
8月1日	36 正9／非19／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	7 正2／非4／派1	1 正1	2 正1／派1
9月1日	38 正9／非21／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	7 正2／非4／派1	2 非2	0
10月1日	41 正9／非24／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	4 正2／非2	1 非1	1 派1
11月1日	40 正9／非23／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	4 正2／非2	0	1 非1
12月1日	40 正9／非23／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	3 正1／非2	0	1 正1
1月1日	40 正9／非23／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	3 正1／非2	0	0
2月1日	40 正9／非23／派8	8 正3／非4／派1	1 正規1	3 正1／非2	1 非1	0
3月1日	41 正9／非24／派8	7 正3／非3／派1	1 正規1	3 正1／非2	1 非1	0
3月末時点					0	11 (正3／非4／派4)
合 計					38 (正9／非21／派8)	19 (正5／非7／派7)

花梨保育園 事業報告書

平成 30 年度 花梨保育園事業報告書

1、方針

今年度は園児も増え、定員は満員になりました。一時保育の利用も従業員の方だけではなく、地域の方の利用も 2 件ほどありました。いずみ苑入所の方と交流を持つ予定にしていたのですが、感染症の事などがあり、定期的に訪問することは難しかったです。子どものことを最優先に考え、業務や保育の確立を目指してきましたが、短い時間だったので、確立までは至りませんでした。育児担当制については、研修を受けたり、また、保育の要となる職員が指導を行ってきたが、確立までにはもう少し時間が必要に思います。

2、実施事業

- ① 事業年度 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- ② 入所児童 平成 30 年 4 月 1 日現在 9 名
平成 31 年 3 月 31 日現在 18 名
年間人数（別紙参照）
- ③ 開園時間 午前 7 時から午後 8 時まで実施
- ④ 一時預かり保育
- ⑤ 病後児保育

3、職員体制

園児が多くなるごとに、いずみ福祉会の方で職員を増やして頂き、3 月には常勤 7 名、短時間 2 名、常勤看護師 1 名、調理 2 名、事務員 1 名、日曜のみ（短時間）1 名の職員で保育を行なってきました。職員も経験者の方を揃えて頂いたので、日々の業務や保育は流れていくが、保育内容については周知し深めることは難しかった。

4、保育内容

育児担当制の保育について、全職員が同じ方向を向くように研修を受けたり、話し合ったり行ったが、共通理解し保育を行うことは難しい状況でした。育児担当制についての関心や子どもの発達に沿っての働きかけ、遊びの展開などまだ薄く感じました。

十分に伝えきれてない所も多いと思いますので、今後お互い刺激し合いながら、保育の質を高めていけたらと思っています。

平成30年度 花梨保育園入園月一覧表

月	入園(一般枠)	入園 (従業員枠)	退園 (一般枠)	退園 (従業員枠)	園児全体合計
4月	1	1	0	0	9
5月	0	0	0	0	9
6月	2	0	0	0	11
7月	0	0	0	0	11
8月	1	0	0	0	12
9月	3	0	0	1	15
10月	0	2	0	0	16
11月	0	2	0	0	18
12月	0	0	0	1	18
1月	0	1	0	0	18
2月	0	0	0	0	18
3月	0	0	1	4	18
合 計	7	6	1	6	平成30年3月まで18名

月	半日	1日	合計
4月	0	22	22
5月	0	34	34
6月	1	30	31
7月	9	15	24
8月	0	13	13
9月	1	17	18
10月	0	17	17
11月	1	17	18
12月	0	14	14
1月	2	12	14
2月	1	21	22
3月	0	39	39
合 計	15	251	266

平成30年度 体調不良 病後時保育一覧表

	体調不良		病後時保育	
月	一般	従業員	一般	従業員
4月	0	1	0	2
5月	1	1	0	2
6月	1	2	0	3
7月	0	2	1	2
8月	1	2	3	0
9月	1	0	0	2
10月	1	0	0	1
11月	3	2	0	0
12月	1	0	0	0
1月	1	0	0	1
2月	0	1	0	1
3月	2	0	1	1

平成30年度 花梨保育園年間行事執行表		
日にち	内容	参加者
4月2日	入園式	新入園児保護者
4月4日	歯科検診	園児全員
4月26日	内科検診	園児全員
6月26日	プール開き	園児全員
10月4日	内科検診	園児全員
10月31日	歯科検診	園児全員
10月31日	ハロウィン	園児全員
12月25日	クリスマス会	園児全員
1月7日	門松見学	園児全員
2月12日～23日	保育参加	保護者
3月20日	お別れ遠足	園児全員
3月29日	卒園式	園児全員・保護者

ふれあい・・・いずみの森に訪問しおじいちゃん方と交流も持ちます

なかよしday・・・2歳児があじさい保育園や鯉田保育園の園児交流を持ちます。

happyday・・・誕生日にみんなでお祝いします。

尿検査・・・年2回行います。

避難・防災訓練・毎月行います。

身体測定・・・毎月看護師が行います。

花梨保育園 平成30年度研修報告一覧表

施 設 内		施 設 外	
4月		4月	わらべうた研修（あじさい保育園） 読み聞かせ研修（あじさい保育園）
5月		5月	新任職員研修
6月	食中毒研修	6月	
7月		7月	保育所保育指針研修会
8月		8月	
9月	横山先生研修	9月	統合保育研修会
10月		10月	届出保育施設等従事者研修会 会計・財務初任者研修
11月	感染症研修 横山先生研修	11月	主任保育士研修会
12月		12月	子育て支援員研修会
1月		1月	保育安全研修会
2月	横山先生研修	2月	
3月		3月	